

対馬市島おこし協働隊

自治体情報

長崎県 対馬市

人口 / 34,367人

標準財政規模 / 20,426 百万円

担当課 地域再生推進本部

電話番号 代表 0920-53-6111

実施主体 対馬市

関連ホームページ http://www.city.tsushima.nagasaki.jp/web/post_332.html

事業期間 平成 23 年度から平成 25 年度まで

関係施策分類 ①、③、④、⑤

予算関連データ

総事業費：21,310千円 (H24)

名称	所管	金額(千円)
一般財源	-	21,310

施策のポイント

総務省地域おこし協力隊制度により、都市部の熱意と専門性あふれる外部人材を活用。特定分野に専念することで、個別具体的な施策が加速。

施策の概要

1. 取組に至る背景・目的

当市では、歯止めのかからない人口減少や少子高齢化により、雇用・教育・医療・福祉・交通機会の喪失など数多くの問題が顕在化している。このような状況の中、地域の維持・再生を担う人材の育成・確保は、喫緊の課題である。

一方、「地域に貢献したい」「人との絆を大切に生きていきたい」「自然と共存したい」といった都市住民のニーズが高まり、自然や文化が色濃く残る島や田舎への移住を希望する人が増加している。

このような課題・ニーズを背景に、当市では、対馬への移住、離島振興や自然環境保全等に関心を持ち、熱意と専門性あふれる都市住民を、島おこしの新たな担い手＝「対馬市島おこし協働隊員」として、平成23年度からの最長3年任期で委嘱している。

2. 取組の具体的内容

東京、神奈川、青森出身の隊員5名が、以下の取り組みを実施。

- ①伝統的知恵と企業CSRの最新環境技術を融合させた持続可能な集落づくりと「学び」のある体験型滞在型観光の推進
- ②植物資源を活かした特産品開発と商品化実証実験
- ③有害鳥獣の皮革を活かした試作品づくり
- ④デザインによる島の魅力創出・発信
- ⑤英語力を活かした欧米圏観光客の誘致
- ⑥ネットやイベント等を通じたファンづくり など

3. 施策の開始前に想定した効果、数値目標など

- ・人材力（熱意×能力）の活性化と担い手の確保及び育成
- ・隊員の定住定着にむけた起業、産業振興及び雇用創出

4. 現在までの実績・成果

- ・特産品の販売促進（ブルーベリー、ツシマヤマメコ米、お菓子類等）
- ・新たな資源（魅力）の掘起こしと活用策の検討
- ・外からの自由な目線・発想・行動力で島内外の人的ネットワークが拡大
- ・新たな地域活性化団体の設立2件（1件準備中）
- ・講演依頼17件、新聞掲載24件、雑誌掲載6件、広報誌掲載9件、TV放送2件、ラジオ放送1件、CATV放送3件、視察5件

5. 導入・実施にあたり工夫した点や苦労した点とその対処法・解決策など

- ・外部人材導入に際する事業のビジョン及びミッションの明確化
 - ・隊員のアイデア及び行動力・スピードと行政サイドの対応のすり合わせ
- 対処法：とにかく隊員とのコミュニケーションを大事にする

6. 今後の課題と展開

専門性の高い隊員とは言え、実践段階では知識・経験不足であることは否めない。これまで、当市ではスキルアップのための内部研修や先進地研修、隊員各自の専門性による補完に取り組んできた。

しかし、任期満了後の定住定着や雇用の創出、安定した収入の確保を行いながら、地域おこしに資するためには、多くの不安と課題に直面している。その解消のためには、企画から販売、起業、組織経営における実務経験豊富な専門家の存在が必要である。当市では、今年度より総務省外部専門家によるサポートを受けながら、活動の発展に努めている。